

種子屋久農協青壮年部 JA役職員と語る会



JA種子屋久青壮年部は、3月8日にJA本所大会議室にてJA役職員との語る会を開催しました。

コロナ禍の影響もあり、3年ぶりの開催となりましたが、西之表支所青壮年部と青壮年部くまげ地区支部から9名が出席し、JA役職員と意見を交わしました。事前に青壮年部で打ち合わせを行いJAへの意見要望をとりまとめJA側に提示し、JA側は回答や資料を準備したうえで語る会開催ということもありスムーズに意見交換を進めることができました。

西之表支所青壮年部の長野正育部長は、「JAも職員の処遇改善により人材確保に取り組んでいることや、組合員向けの情報伝達手段としてSNSの活用を検討していることなど様々な取り組みをしていることを確認できた。離島ということもありJAは生産者にとってなくてはならない存在であり、今後も定期的に意見交換を行いたい。」と手ごたえを感じた様子でした。

また、語る会にさきがけ、県中央会教育課の川路尚子課長による協同組合理念研修も開催され、くまげ地区支部の宇都智秀支部長は、「われわれ組合員はJAの利用者としてだけではなく、JAを組織する一員であることを改めて実感した」と語りました。

イオン福岡試食宣伝販売会開催



イオンモール福岡店にて鹿児島マルシェが3月15日～17日まで開催されました。西之表市野菜部会協議会マメ類部会の部会員もスナップエンドウの試食宣伝販売に参加し、種子屋久産スナップエンドウのPR活動を行いました。山のように積んであったスナップエンドウが見る見るうちに売れていき、参加した部会員も笑顔あふれるPR活動となりました。

また、今後の生産意欲の向上にも繋げることができました。

